市議会だより

議会の取り組みをお知らせする情報誌

すず市議会だより

No.3

平成29年
2月1日発行

平成28年 第5回 12月定例会

会期:平成28年12月6日～16日

平成28年12月6日から16日の11日間にかけて12月定例会を開催、一般会計1億7、978万7千円の12月補正予算案など市長提出の議案13件を可決、平成27年度決算2件を認定、議会議案1件を可決しました。議決状況は下記の一覧表のとおりです。

政務活動費を年1回の後払いに

政務活動費の交付を巡り、珠洲市議会においても不適切な計上があったことが判明しました。

今回の問題は、市民の皆様の信頼を失いかねない重大かつ深刻な問題であり、早急に制度の見直しを図るため、議長直轄となる「政務活動費あり方検討会」を設置して、検討を重ねてきました。

制度改正の課題として協議されたのは、①政務活動費の使途基準の明確化、②支給方法の見直し、③収支報告書の公開のあり方の3点です。

4回の会議を経て12月定例会では収支報告書などの公開方法の見直しと、県内初となる後払い方式を盛り込んだ議会議案第4号「珠洲市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について」を全会一致で可決しました。

現在、政務活動費の使途基準の厳格化・明確化を図るため、作業部会を開催し、4月1日からの運用に向けマニュアルの作成を進めています。

今回の主な改正内容は次のとおりです。

提案者：濱田 隆伸 議員

改正前

・年2回の先払い方式

・珠洲市民に限り収支報告書の閲覧が可能

改正後

・年1回の後払い方式

・政務活動費実績報告書をホームページで公開

・収支報告書は誰でも閲覧可能（領収書を含みます）

・政務活動費運用マニュアル（仮称）の作成

政務活動費あり方検討会

座長　大兼政忠男

中板秀一郎

番匠　雅典

濱野　隆三

米田　幸助

北野　　進

濱田　隆伸

赤坂　敏昭

件名		議決結果
市長提出認定 1 号	平成27年度珠洲市歳入歳出決算の認定について	認定
市長提出認定 2 号	平成27年度珠洲市公営企業会計決算の認定について	認定
議案 第 75 号	平成28年度珠洲市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案 第 76 号	平成28年度珠洲市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案 第 77 号	平成28年度珠洲市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案 第 78 号	平成28年度珠洲市賃貸住宅事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案 第 79 号	平成28年度珠洲市病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案 第 80 号	平成28年度珠洲市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案 第 81 号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 82 号	珠洲市職員退職手当条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 83 号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 84 号	珠洲市税条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 85 号	珠洲市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 86 号	珠洲市立保育所設置条例の一部を改正する条例ついて	原案可決
議案 第 87 号	指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	原案可決
報告 第 19 号	専決処分の報告について（損害賠償額の決定及び和解について）	－
議会議案 4 号	珠洲市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決

議決結果「－」は、議決が不要な案件です。

12月定例会　一般質問

一般質問に10人が登壇
のと里山海道の安全対策や奥能登国際芸術祭など市政全般を問う

12月13日、本会議では10氏が一般質問に登壇しました。各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します（質問順に掲載しています）。
※一般質問とは、議員が市長などに対し、市の政策や各事業などについて、その方針や実施状況を問うことです。

のと里山海道バス事故について

寺井 秀樹 議員

Q 再び悲しい事故が起こらぬよう、部活動における移動の対策について聞く。

A 珠洲市総合教育会議を開催し、今後の部活動における移動については、生徒達の気持ちを配慮するとともに、学校、保護者のご意見を第一に考える必要があるとの認識で一致した。今年度の緑丘中学校の部活動の移動は緊急的な対応として、事業者のバスをチャーターしていただき、費用は全額市が補助する。来年度以降もできる限り事業者のバスをチャーターしていただけるよう対応したい。現在、移動にかかる経費の積算や調査などを進めている。（泉谷市長）

倒壊の恐れがある空き家対策の進捗状況について

Q ①協議会を設置し、「空き家等対策計画」の策定はされたのか。②特定空き家等の判断や解消目的の支援制度は実施されるのか。

A ①平成29年1月中を目途に協議会を設置し、空き家対策計画の策定、特定空き家等の認定、勧告等実施など具体的な措置を講じていく。
②放置されている危険な老朽空き家等の除去を促進することを目的として、周辺の悪影響が大きいなど、一定の条件を満たしていると判断される空き家等の解体費用に対する助成制度を平成29年度から実施していく。（泉谷市長）

災害時の体制の強化について

Q ①これまでも大災害の都度、受け入れ態勢が遅れ、外部からの応援を十分活用できないことが課題となってきた。珠洲市業務継続計画の被害想定では、早期の災害時優先業務遂行が可能となっているが、大規模複合災害時には市単独での業務遂行が困難となる。支援を円滑に受け入れるための体制整備として「災害時受援計画」の作成が必要ではないか。
②珠洲市地域防災計画には、災害時相互応援協定書にて、職員や資機材の応援派遣が明記されているが、大規模災害時は同時被災のため近隣市町の応援を望めない。また、陸路の緊急輸送道路確保が困難となることを想定し、佐渡市のほか対岸にあたる富山県や新潟県の市町と相互応援協定を結ぶことが必要ではないか。

A ①珠洲市業務継続計画は9月に作成した。新たな受援計画を作成するより、まずは、職員が業務継続計画の内容及び役割を熟知し、習熟度を高めることが実践的で効果的であると考える。
②実際に船舶による応援を要請する災害が発生した場合、まずは、県知事を通して自衛隊を要請したい。（泉谷市長）

濱野 隆三 議員

〈その他の質問〉
・自動運転の現状と見通しについて
・ライドシェアの導入について

のと里山海道の安全対策の早期実現にむけて

向山 忠秀 議員

Q のと里山海道は中央分離帯のない自動車専用道路であり、対面通行区間が多く、マイクロバスの衝突事故が発生した。柳田インターから上棚矢駄インターまでの4車線化工事が始まったが、安全確保に向けた全線4車線化を県へ要望すべきではないか。

A 「奥能登地域道路整備促進期成同盟会」の要望活動や「珠洲小木ノ又工区開通式」において「のと里山海道」の安全対策について直接知事に要望している。県では12月補正で約3億9千万円の安全対策費を盛り込んでいるが、今後も、のと里山海道整備促進期成同盟会などを通し要望していきたい。（泉谷市長）

中学校の部活遠征費に係る今後の対応策について

Q 里山海道の事故を受け、部活動移動における保護者負担が増大した。補助の条件や割合を早急に策定し、保護者負担の軽減が図られるよう求める。

A 今年度は緊急的対応として移動費用は全額珠洲市が補助する。来年度以降は、各中学校における公平なルール作りが必要と考えている。現在移動経費の積算や調査を進めている。早急に結論を出したい。（多田教育長）

〈その他の質問〉・健康寿命を延ばす施策について

緑丘中マイクロバス事故を受けて今後の対応について

Q ドライブレコーダーは、周囲の状況なども記録されており、その映像を警察に提出することで事故処理をスムーズにすることができる。また、事故防止の抑止効果もあると言われている。奥能登芸術祭に向けての防犯カメラとしても、事故や犯罪への対応や抑止につながる。公用車全車両にドライブレコーダーを設置してはどうか。

A 本市においては、特殊な車両を除き、出先の施設を含め、公用車67台を所有管理している。ドライブレコーダーについては、まずは、不特定多数の方が乗車する可能性のある、ワンボックス車、マイクロバス、市営バスなどの計12台に設置したい。（泉谷市長）

Q 近年、高齢者が運転する車両の交通事故が多発している。運転免許証自主返納をさらに奨励していく上で、日常生活の中で、自動車などを運転するために必要な適性が欠けているのではないかと思われるような事例を、定期的にお知らせしてはどうか。

A 珠洲市交通安全協会が行っている安全運転研修などの内容を、広報すずに掲載するなど啓発に努める。（土口危機管理室長）

番匠 雅典 議員

〈その他の質問〉
・里山海道の安全対策
・大会運営への配慮を要請

中央公民館の利活用について

赤坂 敏昭 議員

Q ①歴史、伝統文化の発信に市が一丸となって取り組んでいる最中であり、歴史的価値のある島崎家をできるだけ現状で保存していただきたい。さらに、島崎家、中濱家等から市が寄贈を受けた品の常設展示場が必要だ。移転した後の中央公民館を、歴史民俗資料館として活用を考えてはどうか。
②島崎家からの寄贈品の文化財指定に向け、今後の行程はどうなるのか。

A ①寄贈品の展示については常設展示は難しいが、企画展などの利用については検討していきたい。（泉谷市長）
②島崎家からの寄贈品のうち、古文書調査は終了している。今後の報告書原稿を作成し、文化財指定についてはその後、調整を図っていくことになる。（鍛治教育委員会事務局長）

珠洲イラストマップ及び看板について

Q 珠洲イラストマップや観光看板に誤記があり、イメージダウンにつながる。インターネット表記にも照らし合わせて見直すべきだ。また、老朽化した木製看板もある。早急に対応してほしい。

A 珠洲イラストマップを含めた印刷物は順次、インターネット表記と合わせ整合性を図っていく。看板については順次修正し、耐久性の高いアルミ看板への更新を行っているところである。（前田観光交流課長）

自律型自動車運転について

Q 本市が金沢大学と連携して、市内で進められている実証実験の進捗状況や、今後自動運転システムに本市がどのように関わっていくのか。

A 自動運転システムの実証実験は、国内で類例のない規模での実験となっている。現在、全てのルートで自動運転での試走を終了しているが、逆光時の信号機の認識や、降雪時の対応など、検証すべき点が残されており、これらの課題が解決されれば、平成32年の社会実装が可能になると期待している。また、これらの実用化が実現されれば、公共交通が脆弱な過疎地域の大きな希望となるものであると期待しており、今後も金沢大学と連携を強めながら可能な部分について支援と協力を行っていきたい。（泉谷市長）

珠洲焼と備前焼の連携について

Q 珠洲焼と備前焼研究者と陶工家による合同研究をとおして、今後珠洲焼振興にどうつなげていくのか。

A この交流を通じて、お互いの共通点を探ることにより、陶工の技術・知識を高めるとともに工夫を図り、珠洲焼の知名度の向上やブランド化につなげていきたい。（下産業振興課長）

三盃 三千三 議員

〈その他の質問〉
・防災力強化について

ふるさと納税事業の拡大について

Q 近隣市町のふるさと納税額が一昨年で3億4千万円から1億8千万円と珠洲市に比べ6倍から12倍近くある。珠洲市の活性化を図るためにも本市の返礼率を50％に引き上げて、ふるさと納税目標額1億円を目指して取り組んではどうか。

A 今後、返礼品のラインナップの見直しは行う予定である。返礼割合については、現状を維持し、里山里海の自然環境の保全や、子どもからお年寄りまでが元気に暮らせる住みよいまちづくりのための事業に充当していきたいと考えている。また、各地のイベント等で珠洲市の旬の情報を積極的に発信し、本市のファンを増やすことで、ふるさと納税の拡大につなげていきたい。（泉谷市長）

統合型リゾート施設の誘致について

Q 観光振興に大きく寄与すると思われる統合型リゾート施設の誘致について、どう考えるか。

A IR推進法案では、自治体が地域ビジョンや複合観光施設の開発戦略を策定し、参画する民間事業者を選定した上で提案することが必要となっており、本市独自に実現可能な提案を行うことは容易ではないと考えている。（泉谷市長）

中板 秀一郎 議員

〈その他の質問〉
・奥能登国際芸術祭のイニシャルコストと経済効果
・奥能登国際芸術祭における地産地消に対する取り組み

珠洲市独自の出産祝い金を考えては

Q 4月1日時点で19才以下の人口は1、713人で減少し続けている。2人、3人と産みたいが経済的理由であきらめる方もおられる。全国では出産祝い金を出している自治体があるが、子供を産み育てるなら珠洲市と言われるまちづくりを進めるため、独自の出産祝い金を考えてはどうか。

A 出産祝い金制度ではなく、引き続き子供を産み育てやすい環境づくりに努めていきたい。（泉谷市長）

大学・短大・専門学校の進学・就学資金の支援を考えては

Q 大学等に通う場合、珠洲市の子供たちは、アパート・寮等を借りなければ通学できない。社会人になり奨学金返済に苦しんでいる人もいる。他の自治体ではUターン就職した若者の奨学金返済助成の動きがある。珠洲市にも定住者が増えるため双方に良いと考えるが、就学資金の支援を考えてはどうか。

A 奨学金により志や意欲、郷土愛までも醸成することは難しい。小中学校において、ふるさとの良さを見直し、愛する心を育む教育活動が実践されていることが若者のUターン促進につながると考えている。（泉谷市長）

濱田 隆伸 議員

〈その他の質問〉
・のと里山海道のバス事故に関して

奥能登芸術祭の膨張する予算を問う

Q 実行委員会が発足した平成26年度から開催年の来年度までの予算合計は、芸術祭実施計画で示された3億円を大きく上回る。予算の上限見通しを聞く。

A 平成29年度の予算規模を3億円程度と見込んでいる。現段階で詳細な積算はできないが、これを上限枠として費用を配分する。（泉谷市長）

Q 自治体負担額が大き過ぎる。増額要因は何か。

A 第一回開催で作品の蓄積がないこと、作品展示施設を含めた受入体制もゼロからのスタートであること、全国各地で芸術祭が数多く開催される中、一定水準以上の質や効果的なPR、移動手段の整備なども必要である。（泉谷市長）

Q 実行委員会予算以外の関連予算を聞く。

A 作品展示箇所である旧飯塚保育所や旧清水保育所は実施設計委託料等を予算計上した。今後、参加アーティストの制作箇所が確定次第、遊休施設の整備事業を順次実施していく。（泉谷市長）

Q 予算の大半は税金であり、参加アーティストとの契約金額や算定基準を公表すべきではないか。

A （株）アートフロントギャラリーに一括委託している。個人情報も含むので公表できない。（泉谷市長）

北野 進 議員

〈その他の質問〉
- 北陸新幹線
- 親子議会
- 全国学力調査

カジノ誘致について

Q 平成14年珠洲市議会において「カジノ法制化に関する意見書」が可決されている。賛成の議員は的確に時代を先読みしていると言われており、反対の議員も能登全体の浮上を考えてみてはと言われている。市税は年々減っており、平成28年度の当初予算では15億1千万円となっている。平成15年の議会で当時の貝藏市長は本市のような地域こそ効果が期待できると言われており、平成18年には泉谷市長が莫大（ばくだい）な経済効果があることは十分に認識しており、カジノの誘致を珠洲市の経済活性化を図る上で検討してまいりたいと答えている。市民からの動きとしても、全国で開催され10回を数えた「日本カジノ創設サミット」の第一回目が珠洲市で開かれるなど、全国的にみても、かなり早く積極的に動かれている。このIR整備推進法は、1年以内に詳細を定めた実施法を制定する義務が国会に課せられるものであり、市長の考えを問う。

A 本市独自に提案を行うことは容易ではなく、国の動向を見守りたいと考えている。（泉谷市長）

米田 幸助 議員

〈その他の質問〉
- 職員の無償労働とボランティア
- 国民健康保険事業基金
- 漁業用燃油価格支援事業
- 子育て応援アプリ「のとノットアローン」

議会運営委員会視察

視察日：10月24日～25日
場　所：神奈川県横須賀市

今回、議会運営委員会として初めての視察となった。横須賀市議会は議員定数が41人で、本会議はもちろん、委員会もネットで中継しており、その他の会議も基本的には全て公開され、開かれた議会となっていた。

また、議員の政策形成能力の向上を図るため、関東学院大学との包括的パートナーシップ協定も締結している。このほか、予算決算常任委員会の設置や議会報告会の開催、一問一答方式の導入など様々な取り組みの説明を受けた。

珠洲市議会として今年度から議会だよりを発行し新たな取り組みを進めているが、議員数が多く、所属政党も複雑な会派構成の中での議会運営の難しさや、議会報告会への市民参加者の減少など、横須賀市議会の様々な課題を聞き、今後の議会改革の方向性や開かれた議会の在り方などについて、さらに検討していく必要があると認識した。

横須賀市議会議場にて

議会運営委員会
委員長 上野　良夫
副委員長 向山　忠秀
委　員 寺井　秀樹
〃 小泊　辰男
〃 森井　洋光

常任委員会の主な審査内容

※審議過程での主な質疑応答の一部を紹介します。

総務

委員長　森井　洋光
副委員長　赤坂　敏昭
委員　中板秀一郎
〃　北野　進
〃　濱野　隆三

付託案件：議案 7件

問　職員の介護時間が新設されたが、取得した場合、勤勉手当や昇給に即に影響しないとはどういうことか。

答　通算で30日までは影響はない。1日2時間以内であるが、1カ月以上6時間勤務が続けば昇給などに影響が出る場合もある。

問　地域環境共生圏構築事業とは何か。

答　環境省が、森里川海の適正な管理と活用を通じ、地域と共生するモデルケース団体を作ろうとしている。珠洲市は金沢大学能登学舎を中心にいろいろな取り組みを実践し、生物多様性の推進計画も策定している。今回、珠洲市としての方策を申請し採択された。今後3年程度継続的に活動・検証を行う委託事業である。

問　奥能登芸術祭作品管理等について、いくつもの団体が絡んでおり予算の流れがわかりずらい。アーティストとの作品契約金額など詳細な内容を公表できないか。

答　詳細な内訳はアーティストのブランド価値に影響があり公表できない。実行委員会や役員会では何らかの形で出していきたい。

教育民生

委員長　寺井　秀樹
副委員長　大兼政忠男
委員　米田　幸助
〃　番匠　雅典

付託案件：議案 4件

問　結核は、昔は多くかかった方がいたが、今はあまりいないのか。

答　現在、当院で入院されているのは1人である。奥能登2市2町の病院で、珠洲が結核患者用に7床持っている。利用率は低いが、奥能登2市2町の患者を集約している。

問　中学校費の中で全国大会派遣費補助金の内訳はどうなっているのか。

答　中学生リズムダンス全国大会は1チームの予算を計上していたが、2チーム出場することになった。また、ジュニアオリンピックもあわせて増額補正した。

問　800人の市民の方が活動量計を利用されているとのことであったが、そのうち市の職員は何人いるのか。

答　調査してないが、普及拡大を図るため、職員への利用拡大を検討していく。

問　みさき保育所の外壁は木材か。木材であれば、経年劣化により腐食や色落ちすることも予想されるがどうなのか。

答　外壁は木材を使用し、色合も明るいイメージになるように設計されている。

産業建設

委員長　小泊　辰男
副委員長　向山　忠秀
委員　上野　良夫
〃　三盃三千三
〃　濱田　隆伸

付託案件：議案 4件

問　斎場施設の空調設備修繕について、他の箇所は修繕を要しないのか。

答　斎場施設は築約22年が経過しており、以前に待合室や収骨室の空調設備が故障し、修繕を行った。

問　市町村設置型合併処理浄化槽の修繕費の内容はどうなっているのか。

答　市が管理している合併処理浄化槽の内、外浦地区にある大型合併処理浄化槽のメンテナンス用蓋の塩害による腐食や、合併処理浄化槽のバクテリアを付着させる濾材（ろざい）の流出により修繕を行う。

問　鳥インフルエンザについて、もし野鳥が死んでいた場合はどのように処理するのか。

答　情報を受けた後、珠洲農林事務所経由で奥能登農林総合事務所に連絡し、能登北部家畜保健衛生所の職員が鳥のサンプルを回収する。検査機関で検査をし、もし陽性であったならば、周辺のパトロールを強化する。大量に死んでいれば全てペール缶に入れて回収すると聞いている。土地も消毒するが、どのように消毒するかは、県が指導する。

珠洲市議会だより
発行：珠洲市議会　編集：議会だより編集委員会
No.3　2017年2月1日発行

主な議会の動き

月	日	事　　項
12	6	議会運営委員会、議員全員協議会
		平成28年第5回珠洲市議会12月定例会【開会】
	8	議会運営委員会
		政務活動費あり方検討会
	13	平成28年第5回珠洲市議会12月定例会【質疑・一般質問】
	14	平成28年第5回珠洲市議会12月定例会【常任委員会】
	16	議会運営委員会、議員全員協議会
		平成28年第5回珠洲市議会12月定例会【閉会】
		議会運営委員会
	19	政務活動費のあり方検討会作業部会（第1回）
1	11	政務活動費のあり方検討会作業部会（第2回）
	17	第96回能登五市議会議長会定期総会（七尾市）
	18	政務活動費のあり方検討会作業部会（第3回）
	23	議会改革特別委員会
	25	政務活動費あり方検討会

須須神社と義経伝説

義経が歴史に現れるのは、治承4年（1180年）黄瀬川で頼朝と対面した22歳から、文治5年（1189年）奥州衣川館で藤原泰衡に襲われ自害したとされる31歳までのわずか9年間です。義経は、寿永3年（1184年）正月、宇治川の戦いで木曽義仲を、2月一ノ谷の戦いで平氏を破り歴史の表舞台に立ちます。次いで、元歴2年（1185年）2月屋島の戦いに勝利、3月壇ノ浦で平氏を滅ぼしますが、その後兄頼朝と対立し朝敵となります。文治元年（1185年）11月義経追討の院宣が出され、義経は所々に隠住し追補使を遁（のが）れます。2年後、義経一行が奥州藤原氏のもとに現れるまでの行動は謎の部分が多く、各地での義経伝説を生んでいます。特に、能登海岸部には各地に義経の伝承が残っています。須須神社に納められている「蝉折の笛」「弁慶の守刀」は、義経が珠洲岬の沖合いで海難に遭った際、海上守護神の三崎権現（須須神社）に向かって祈ったところ、風が止んで救われたとして奉納されたと伝えられているものです。歌碑は、作家村上元三氏が、昭和41年放送されたNHK大河ドラマ「源義経」の舞台として何度も取材に訪れ、その記念として建てられました。「吾妻鏡」では文治3年2月10日（1187年）義経一行が奥州に着いたとありますから、義経が能登に滞在したのは雪の季節です。義経は能登の雪に何を見て何を想ったでしょうか。

（表紙写真）

ご案内

第1回珠洲市議会 3月定例会

本会議日時	議事内容
2月27日（火）15時～	開会、市長提出議案一括上程・説明、請願常任委員会付託
3月6日（月）10時～	質疑・一般質問、議案等常任委員会付託
3月15日（水）15時～	各常任委員会審査結果報告、質疑・討論、議案・請願等採択、閉会

お知らせコーナー

傍聴してみませんか

本会議は公開され、自由に傍聴できます。本会議当日に、市役所西側5階で受付してください。

インターネットでも視聴できます

珠洲市議会では、本会議の審議状況を市のホームページに映像配信（生中継）しています。また、過去の議会の録画映像も配信しています。

珠洲市議会ホームページ

身近で開かれた市議会を目指し、ホームページで様々な情報を公開しています。市議会の役割や仕組み、議員や委員会の紹介、議会日程、議会だよりなど掲載しています。ぜひご利用ください。

珠洲市議会　検索

編集あとがき

「止まりさえしなければ、どんなにゆっくりでも進めばよい」という孔子の言葉がある。珠洲市では、今年の9月3日から50日間にわたり、奥能登国際芸術祭が開催される。2月にはシンポジウムが開催され、奥能登の伝承文化や生活様式とアートが融合し、地域活性化が期待される。「アートでまちおこし」という新しい取り組みは、まさに過疎化・少子高齢化問題を抱える珠洲市には、希望の光である。珠洲市議会も、市民に開かれた議会改革を進め、問題解決に向け進んでいきたい。心機一転。

三盃　三千三

議会だより編集委員会
委員長　向山　忠秀
副委員長　三盃三千三
委員　北野　進
〃　濱野　隆三
〃　番匠　雅典

〒927-1295 石川県珠洲市上戸町北方1字6番地2
TEL 0768-82-7797　FAX 0768-82-7774
ホームページ　www.city.suzu.ishikawa.jp/gikai/shigikai.html